

組合出資 の新会社 アースアプレイザル設立

デューデリジェンス市場開拓

地盤環境技術
研究センター

協同組合地盤環境技術研 一 郎ケイ・アイ不動産鑑定 建設産業の新市場開拓に向
究センター（一川宏也理事 エンス（不動産鑑定評価） 社長がそれぞれ就任した。
長と不動産鑑定企業2社 市場の開拓に取り組む新会 けた新たな動きとてらえ、
の共同出資により、地盤環 社「アースアプレイザル」 新会社設立に当たって協同 今後も同様の取り組みが出
境に関連したデューデリシ 組合の定款変更を認可した てくることを期待してい
に「一川理事長、社長に鈞持 国土交通省としても、中小 る。

新会社の資本金は1000万円。出資構成は、同技術研究センターが50%、ケイアイ不動産鑑定が40%、緒方不動産鑑定事務所が10%。

同技術研究センターは全 国地質調査業協会連合会（全地連）を母体に、全国60社の地質調査業を会員に

設立された事業協同組合。

一方、ケイ・アイ不動産鑑定は、日本不動産鑑定協会のパートナーシップ制度に属するグループ（不動産評価コンソーシアム）の幹事を務めており、200社と連携した関係を持つ。新会社は、これら会員企業の有するノウハウを活用する。

新会社は、汚染の可能性がある不動産の検査データベースと不動産評価計算システムを活用し、これらを

連動させたコンサルティング業務を展開する方針で、3月の営業開始に向けシステム開発を進めている。

また、土地の売買、環境監査など不動産関連の相談を受け付け、資料などによる調査や鑑定評価を実施。さらに詳細な調査や対策を要する場合には、関連会社（組合会員企業など）のあっせん・紹介や外注を行う。

東京23区から順次エリアを拡大し、最終的に全国をカバーする予定だ。